

## メガイベントを観光振興に最大限活用するために（参考訳） (Maximizing the Benefit of Mega Event for Tourism Development)

※冊子はこちらから閲覧可能です（有料）

<https://www.e-unwto.org/doi/book/10.18111/9789284418923>

### 推奨事項

#### 計画：

目的と目標を設定し、「イベント開催前・開催中・開催後」の具体的な観光振興計画を立てる。イベントの組織委員会とも連携する。

### プロモーション

#### 1. ブランディングとイメージ：

観光地として望むイメージと位置付けを決定し、それらを広く、強く訴求する。認知度を持続させるために、イベントの後もブランディングとプロモーションを継続する。

#### 2. 商品開発：

観光地のイメージと目的にあった観光商品を開発・多様化させ、プロモーションする。

#### 3. メディア：

メディアに対して最大限の対応をし、良好な関係を確立・維持することで、好意的な露出を最大限に引き出す。

#### 4. ソーシャルメディア：

訪問者や地域住民の関心を巻き込み、楽しませることで、プロモーションの効果を最大限に引き出す。

#### 5. イベントスポンサーとの連携：

イベントスポンサーと協力してプロモーションと露出を最大化する。

## 6. ビザ緩和：

訪問者数を増やすためにビザの緩和や取得手続を簡素化する手段を検討する。

## 経済的側面：

### 1. 観光インフラ整備：

必要な観光インフラがイベントのニーズと同時に将来の観光のニーズに沿った形で開発されるようにする。インセンティブを提供することによって民間投資を促す。

### 2. 受入環境：

多言語表記、Wi-Fi、情報およびガイドサービス等を通じて、訪問者の体験と利便性を向上させる。

### 3. 効果の地域波及：

イベントに合わせて、開催都市だけでなく、他の地域や国全体をプロモーションする。

### 4. 技術革新：

観光とその関連分野における新技術の導入や実験の場としてイベントを活用する。

### 5. 人材育成：

観光とその関連分野における既存および将来の労働者に対して、職業訓練の機会を提供する。将来の参考となるよう取り組みの記録を残しておく。

### 6. 地域・官民連携：

観光振興計画の議論と実行のために主要関係者によるグループを設立する。

### 7. 観光を国の政策課題に：

イベントを活用して、政策立案者や社会全体における観光の重要性に対する理解を高める。

## 社会的側面：

### 1. バリアフリー：

訪問者および地域住民のためのバリアフリーを、観光のあらゆる側面で強化・促進する。

### 2. 環境：

観光をより環境にやさしいものするための対策を講じることを奨励するとともに、旅行者の環境への問題意識を高める。

### 3. 市民参加：

訪問者の歓迎やボランティア活動に地域社会や市民を巻き込んでいく。地域社会が直接イベントに関与することで、訪問者をより暖かく迎え入れることにつながり、そのような地元の大使の存在が観光地のブランドを強化する。

### 4. 相互理解：

観光の究極の目的のひとつである相互理解を深めるために、イベントに合わせて他の国や異文化について学ぶ機会を提供する。

## 危機管理：

### 1. クラウディングアウト：

開催国・開催都市はいつもと変わらず訪問客を迎える準備ができていることや、この期間の訪問はさらにいっそう特別なものになることを潜在的な訪問者に訴える。

### 2. 価格高騰：

事業者に対して訪問者を搾取することのないよう働き掛ける。市場の状況を見て、必要に応じて対策を講じる。

### 3. 非常時の報道対応：

非常時の報道対応に関する計画を立てて準備をしておくとともに、好ましくない報道には迅速かつ誠実に対応する。

#### 4.安全：

安全でスムーズな旅行の実現のために治安当局と協力する。組織委員会と連携して、危機管理計画に基づき非常事態に備える。何かが起こった場合には、訪問者を保護しつつ、迅速かつ正確な情報提供を行う。